



エイチ・ツー・オー リテイリング 株式会社

平成26年3月期 決算発表

補助資料

平成26年5月9日

連 結

1. 連結決算の概要	1
2. セグメント別業績	1
3. 連結貸借対照表の主な増減とその理由	2
4. 販売費及び一般管理費の主な内訳	2
5. 特別損益の主な内訳	3
6. 従業員の状況	3

百貨店事業

1. ㈱阪急阪神百貨店の業績	4
2. 店別売上高	4
3. 商品別売上高	5
4. その他の項目	5

連 結

1. 連結決算の概要

(単位:百万円)

	平成25年度実績			
	上半期	下半期	通期	前期比
売上高	264,822	312,029	576,852	109.8%
売上総利益	71,399	84,614	156,014	109.5%
営業利益	4,348	12,965	17,313	162.3%
経常利益	4,846	13,314	18,160	160.2%
当期純利益	2,652	△2,357	295	4.8%

平成26年度予想			
上半期	下半期	通期	前期比
342,000	468,000	810,000	140.4%
95,154	135,413	230,567	147.8%
4,400	15,600	20,000	115.5%
4,600	15,500	20,100	110.7%
—	—	—	—

減価償却費	6,732	6,865	13,598	100.6%
金融収支	439	154	593	129.4%
設備投資	3,707	9,824	13,532	40.9%
売上高営業利益率	1.64%	4.16%	3.00%	+0.97
売上高経常利益率	1.83%	4.27%	3.15%	+0.99
1株当たり当期純利益(円)	13.66		1.52	△30.42

6,876	8,994	15,870	116.7%
94	△ 8	86	14.6%
8,467	13,124	21,591	159.6%
1.29%	3.33%	2.47%	△0.53
1.35%	3.31%	2.48%	△0.67
—		—	—

※平成26年6月1日にイズミヤ株式会社と株式交換による経営統合を予定しており、連結財務諸表上、「負ののれん」が発生する見込みです。現時点では金額等が確定していないため当期純利益に関しましては未定とさせていただきますが、確定次第お知らせいたします。

2. セグメント別業績

(単位:百万円)

	平成25年度実績			
	売上高		営業利益	
		前期比		前期増減
百貨店事業	427,266	111.5%	13,246	+5,404
スーパーマーケット事業	100,223	107.4%	2,127	+315
イズミヤ事業	—	—	—	—
PM事業	12,924	93.9%	1,394	△200
その他事業	36,436	104.9%	3,541	+2,922
連結 合計	576,852	109.8%	17,313	+6,643

平成26年度予想			
売上高		営業利益	
	前期比		前期増減
406,850	95.2%	12,800	△446
104,834	104.6%	2,300	+172
250,000	—	4,000	—
—	—	—	—
48,316	97.9%	3,676	△543
810,000	140.4%	20,000	+2,686

※セグメント間取引の連結上消去があるため、セグメント別営業利益の合計は連結営業利益と一致しません。

※平成26年度より、イズミヤ事業セグメントを新設し、従来のPM事業セグメントは、その他事業セグメントに統合いたします。

その他事業の平成26年度予想における前期比、前期増減につきましては、統合後の区分で算出した平成25年度実績との比較を記載しております。

3. 連結貸借対照表の主な増減とその理由

(単位:百万円)

科 目	当期	前期	増減	主な増減理由
(資産の部)	377,716	359,323	+18,392	
流動資産	92,027	65,418	+26,608	
固定資産	285,689	293,905	△ 8,216	
のれん	7,942	16,019	△ 8,077	阪神梅田本店建て替えに伴う減損他
(負債の部)	195,439	172,901	+22,537	
流動負債	141,603	90,700	+50,903	
1年内返済予定の長期借入金	35,483	580	+34,903	長期借入金より振替
固定負債	53,835	82,201	△ 28,365	
長期借入金	5,501	41,210	△ 35,708	1年内返済予定の長期借入金へ振替
退職給付引当金	—	12,561	△ 12,561	退職給付に関する会計基準の適用によるもの
退職給付に係る負債	18,221	—	+18,221	退職給付に関する会計基準の適用によるもの
(純資産の部)	182,277	186,422	△ 4,144	
利益剰余金	96,901	99,032	△ 2,131	当期純利益+295、剰余金の配当△2,426
その他有価証券評価差額金	21,636	19,976	+1,660	時価評価差額の増加(法人税相当額控除後)
退職給付に係る調整累計額	△ 4,128	—	△ 4,128	退職給付に関する会計基準の適用によるもの

4. 販売費及び一般管理費の主な内訳

(単位:百万円)

科 目	当期	前期	対比	売上構成比		販管費構成比	
					増減		増減
販売費及び一般管理費	138,700	131,859	105.2%	24.04%	△ 1.06	100.00%	—
人件費(報酬・通勤交通費含む)	52,368	49,129	106.6%	9.08%	△ 0.28	37.76%	+0.50
賃借料	25,172	23,556	106.9%	4.36%	△ 0.12	18.15%	+0.28
宣伝装飾費	9,311	8,673	107.4%	1.61%	△ 0.04	6.71%	+0.14
減価償却費	12,840	12,772	100.5%	2.23%	△ 0.21	9.26%	△ 0.43
委託作業費	7,777	7,832	99.3%	1.35%	△ 0.14	5.61%	△ 0.33
販売手数料	4,842	4,179	115.9%	0.84%	+0.04	3.49%	+0.32
運搬費	6,375	6,121	104.1%	1.11%	△ 0.06	4.60%	△ 0.05
その他	20,011	19,593	102.1%	3.47%	△ 0.26	14.43%	△ 0.43

5. 特別損益の主な内訳

(単位:百万円)

科目	当期	備考
特別利益	126	
関係会社清算益	126	阪急デパートメントストアーズヨーロッパ清算に伴うもの
特別損失	11,462	
店舗建替関連損失	9,411	阪神梅田本店建て替えに伴う固定資産及びのれんの減損他
減損損失	1,295	阪急オアシス東中浜店(阪食)他
固定資産除却損	432	
新店舗開業費用	171	阪急大井町ガーデン2期棟(アワーズイン阪急ツイン館)オープンに伴う費用
店舗等閉鎖損失	152	一部店舗の売場面積縮小(阪急阪神百貨店)他

6. 従業員の状況

(単位:人)

	当期		前期	
百貨店事業	3,078	(1,907)	3,163	(1,769)
スーパーマーケット事業	995	(4,345)	1,015	(4,117)
PM事業	126	(516)	133	(521)
その他事業	1,217	(2,280)	1,231	(2,410)
合計	5,416	(9,048)	5,542	(8,817)

※従業員数は期末就業人員数(他社への出向者を除き、受入出向者・執行役員を含む)

※()内は、臨時従業員の期中平均人数

百貨店事業

1. (株)阪急阪神百貨店の業績

(単位:百万円)

	平成25年度実績		平成26年度予想	
	金額	前期比	金額	前期比
売上高	426,838	111.8%	406,000	95.1%
売上総利益	105,505	112.1%	100,700	95.4%
その他の営業収入	894	51.2%	850	95.0%
営業総利益	106,400	110.9%	101,550	95.4%
販売費及び一般管理費	92,325	105.7%	88,550	95.9%
営業利益	14,074	165.2%	13,000	92.4%

2. 店別売上高

(単位:百万円)

	平成25年度実績		平成26年度予想	
	金額	前期比	金額	前期比
阪急本店(注)1	192,214	132.8%	192,200	100.0%
千里阪急	17,390	101.2%	16,700	96.0%
堺 北花田阪急	10,123	98.4%	9,530	94.1%
川西阪急	17,549	99.1%	16,500	94.0%
宝塚阪急(注)2	8,690	97.8%	8,000	92.1%
西宮阪急	25,116	103.9%	24,600	97.9%
三田阪急	1,392	99.8%	1,330	95.5%
博多阪急	40,464	108.0%	40,000	98.9%
阪急メンズ東京	12,646	110.3%	13,000	102.8%
阪急百貨店 大井食品館	4,683	102.8%	4,700	100.4%
都筑阪急(注)3	5,231	87.4%	4,900	93.7%
阪神梅田本店	82,413	92.4%	65,950	80.0%
あまがさき阪神	3,818	100.8%	3,660	95.9%
阪神・にしのみや	4,539	100.7%	4,400	96.9%
阪神・御影	563	98.3%	530	94.0%
合計	426,838	111.8%	406,000	95.1%

(注)1 阪急メンズ大阪を含む。

(注)2 平成26年3月4日 1階部分の営業終了。

(注)3 平成24年10月3日 2～4階部分をショッピングセンターに業態変更し、これに伴う収益は(株)阪急商業開発にて計上。

3. 商品別売上高

(単位:百万円)

	売上高			構成比増減
		前期比	構成比	
紳士服・洋品	36,754	106.7%	8.6%	△0.4
婦人服・洋品	74,150	108.7%	17.4%	△0.5
子供服・洋品	10,776	103.3%	2.5%	△0.2
呉服・寝具・その他の衣料	13,927	108.0%	3.3%	△0.1
衣料品計	135,608	107.6%	31.8%	△1.2
身の回り品	78,052	123.5%	18.3%	+1.7
家具	3,237	147.1%	0.7%	+0.1
家電	266	68.6%	0.1%	+0.0
家庭用品	11,114	110.2%	2.6%	+0.0
家庭用品計	14,618	115.4%	3.4%	+0.1
生鮮食品	27,561	106.2%	6.5%	△0.3
菓子	45,889	105.7%	10.8%	△0.6
惣菜	36,267	104.9%	8.5%	△0.5
その他食料品	22,410	104.6%	5.2%	△0.4
食料品計	132,128	105.4%	31.0%	△1.8
食堂・喫茶	12,068	119.2%	2.8%	+0.2
化粧品	27,409	118.2%	6.4%	+0.3
美術・宝石・貴金属	15,337	143.5%	3.6%	+0.8
その他雑貨	7,576	111.2%	1.8%	+0.0
雑貨計	50,322	123.7%	11.8%	+1.1
サービス	2,291	101.1%	0.5%	△0.1
その他	1,747	110.1%	0.4%	+0.0
合計	426,838	111.8%	100.0%	-

4. その他の項目

(1) 従業員の状況

人数	平均年齢	平均勤続年数
3,078 (1,907) 人	43.3 才	22.3 年

※従業員数は期末就業人員数(他社への出向者を除き、受入出向者・執行役員を含む)

※()内は、臨時従業員の期中平均人数

(2) 単位当たり売上高

(単位:千円)

	当期	備考
1人当たり売上高	80,748	売上高÷期中平均従業員数(期中平均臨時従業員含む)
1㎡当たり売上高	1,404	売上高÷期中平均売場(営業)面積

(3) 店別売場(営業)面積、営業日数と入店客数

	売場(営業)面積(m ²)	営業日数(増減)	入店客数(千人)	前期比
阪急本店	97,804	364 (+5)	46,839	117.0%
千里阪急	13,803	364 (±0)	(注)2 5,328	98.4%
堺 北花田阪急	16,000	365 (±0)	7,244	96.2%
川西阪急	15,528	364 (±0)	5,889	102.8%
宝塚阪急(注)3	5,528	364 (±0)	(注)1 —	—
西宮阪急	25,000	365 (±0)	13,394	100.4%
三田阪急	2,143	364 (±0)	(注)1 —	—
博多阪急	41,835	365 (±0)	25,164	101.1%
阪急メンズ東京	11,445	364 (±0)	2,985	94.4%
阪急百貨店 大井食品館	2,042	364 (±0)	5,346	108.0%
都筑阪急(注)4	6,736	364 (±0)	3,651	86.9%
阪神梅田本店	53,395	364 (±0)	41,743	93.6%
あまがさき阪神	5,329	364 (±0)	(注)1 —	—
阪神・にしのみや	4,998	364 (±0)	4,099	98.8%
阪神・御影	804	363 (±0)	5,157	98.2%
合計	302,389		166,844	102.2%

※面積は当期末時点

(注)1 入店客数計測器を設置していないため。

(注)2 千里阪急の入店客数は、平成24年6月の入店客数計測器故障のため、当期につきましては平成25年6月を除く11ヶ月間の数値を記載し、前期比につきましても、同期間(11ヶ月間)による対比を記載しております。

(注)3 平成26年3月4日 1階部分の営業終了。

(注)4 平成24年10月3日 2～4階部分をショッピングセンターに業態変更し、㈱阪急商業開発が運営。